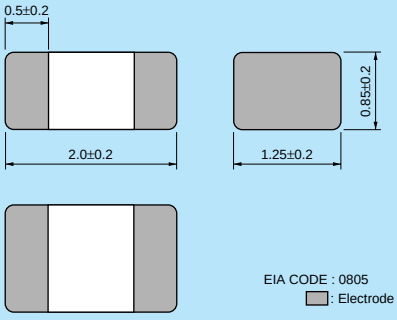
BLM21Pシリーズ (2012サイズ)

電源ライン用 2012サイズ

※電源ライン・信号ライン両対応品もご確認ください。　※BLM18Kへのダウンサイジングもご検討ください。

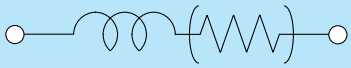
■外形寸法図



EIA CODE : 0805
: Electrode

(in mm)

■等価回路



(Resistance element becomes dominant at high frequencies.)

■包装仕様

コード	包装仕様	最小受注単位数
D	180mmリール紙テーピング	4000
J	330mmリール紙テーピング	10000
B	バラ袋	1000

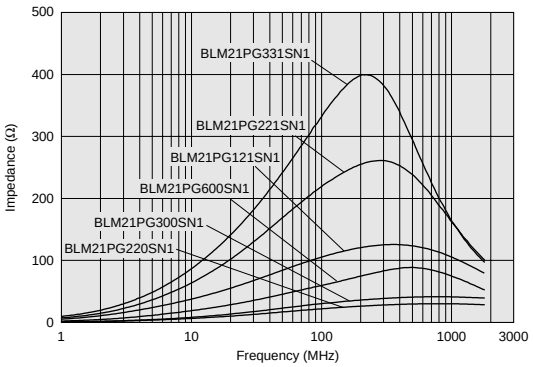
実装情報については、p.89～p.92をご参照ください。

■定格値（□は包装仕様コードが入ります。）

品番	インピーダンス (at 100MHz/20°C)	定格電流	直流抵抗(以下)	使用温度範囲	
BLM21PG220SN1□	22Ω±25%	6000mA	0.01Ω	-55°C～+125°C	Kit ≧3A
BLM21PG300SN1□	30Ω(Typ.)	3000mA	0.015Ω	-55°C～+125°C	Kit ≧3A
BLM21PG600SN1□	60Ω±25%	3000mA	0.025Ω	-55°C～+125°C	Kit ≧3A
BLM21PG121SN1□	120Ω±25%	3000mA	0.03Ω	-55°C～+125°C	New Kit ≧3A
BLM21PG221SN1□	220Ω±25%	2000mA	0.050Ω	-55°C～+125°C	Kit ≧1A
BLM21PG331SN1□	330Ω±25%	1500mA	0.09Ω	-55°C～+125°C	Kit ≧1A

回路数：1

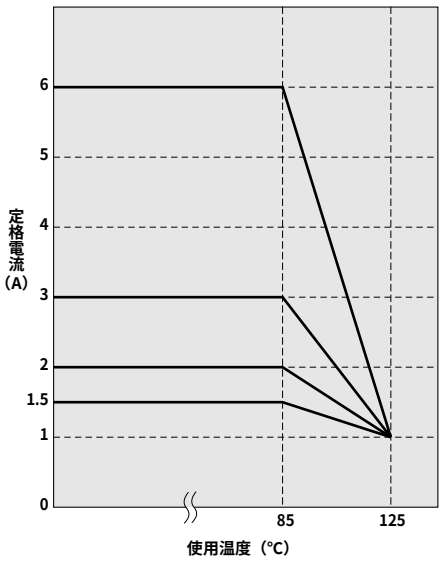
■主要品種インピーダンス周波数特性



■使用上の注意（定格上の注意）

BLM21PGシリーズを+85°C以上の温度でご使用の際は、定格電流のディレーティングが必要です。使用温度に応じて図のように使用電流のディレーティングを行ってください。

定格電流のディレーティング

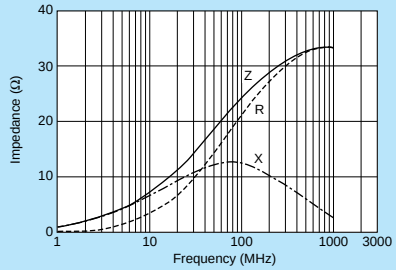


次ページに続く

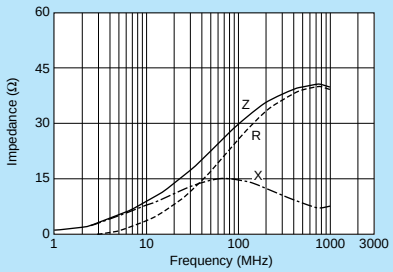
⚠お願い ・当PDFカタログは、株式会社村田製作所のウェブサイトからダウンロードされたものです。記載内容について、改良のため予告なく変更することや供給を停止することがございますので、ご注文に際してはご確認ください。
・当PDFカタログには、紙面の都合上代表的な仕様しか記載しておりませんので、ご注文にあたっては詳細な情報が記載されている納入仕様書をご確認いただくか承認図の取交しをお願いします。

■インピーダンス周波数特性

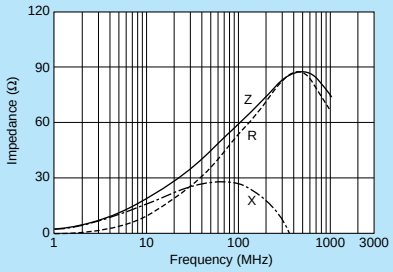
BLM21PG220SN1



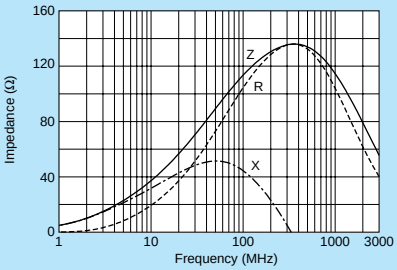
BLM21PG300SN1



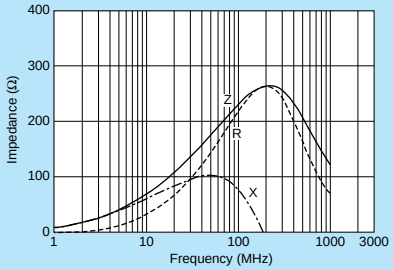
BLM21PG600SN1



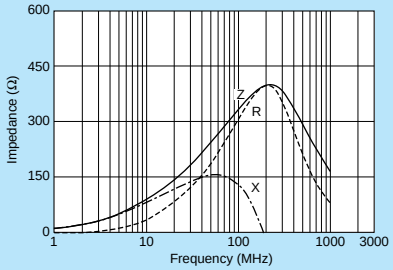
BLM21PG121SN1



BLM21PG221SN1



BLM21PG331SN1

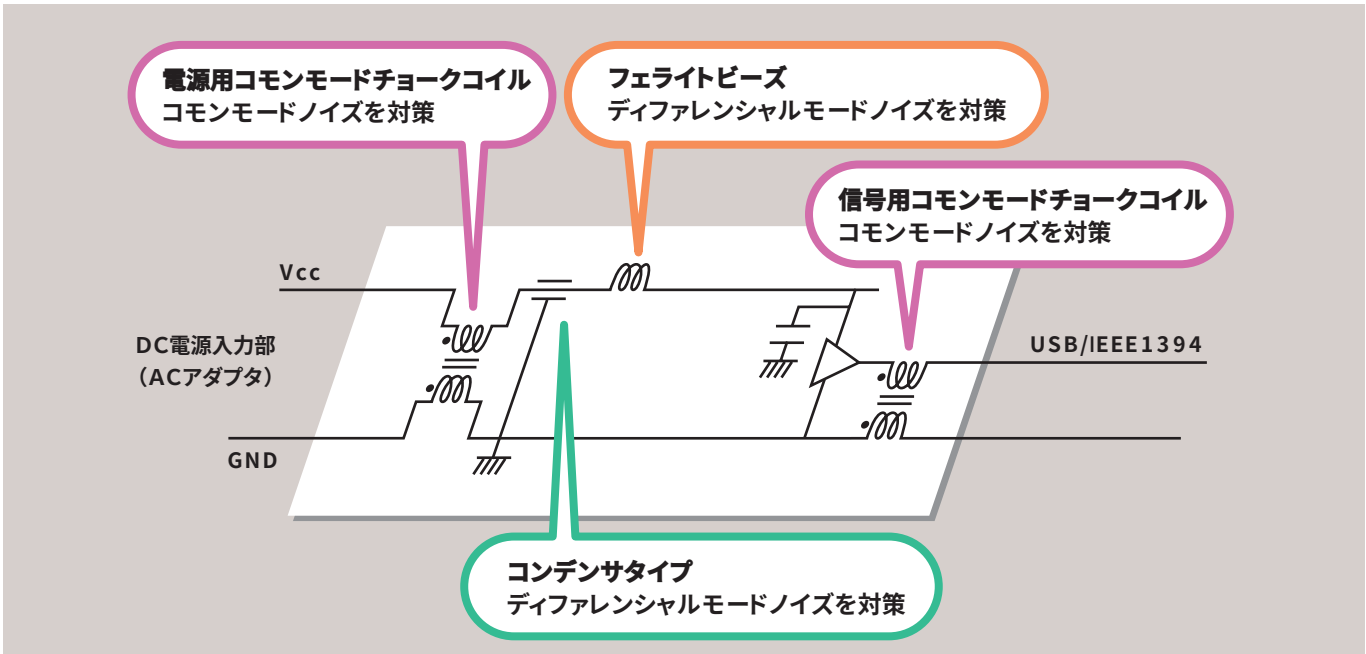


⚠お願い ・当PDFカタログは、株式会社村田製作所のウェブサイトからダウンロードされたものです。記載内容について、改良のため予告なく変更することや供給を停止することがございますので、ご注文に際してはご確認ください。
・当PDFカタログには、紙面の都合上代表的な仕様しか記載しておりませんので、ご注文にあたっては詳細な情報が記載されている納入仕様書をご確認いただくか承認図の取交しをお願いします。

●ノイズ除去フィルタ各タイプの特長と適した回路

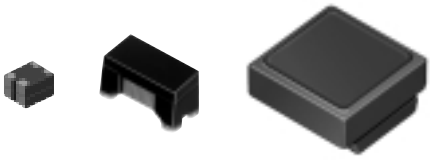
分　類	特　長	適した回路
フェライトビーズ BLM/BLAシリーズ 	小型である GNDへの接続が不要 低インピーダンスラインで効果が出やすい	比較的ノイズ量が少ないセット 低インピーダンスライン
コンデンサタイプ NFM/NFA/NFE/NFR/ NFL/NFWシリーズ 	ノイズ対策効果が大きい バイパスコンデンサとしての効果も期待できる（電源用ラインアップ） ノイズと信号の分離度が高い（信号用LCフィルタ） 高インピーダンスラインで効果が出やすい	比較的ノイズ量が多いセット 高インピーダンスライン バイパスコンデンサを使用している部分 信号の周波数が高い回路
コモンモード チョークコイル 	超高速信号に対してもほとんど影響を与えずノイズを除去できる コモンモードノイズに対する効果が大きい 電流による磁気飽和が起こりにくい	高速差動信号ライン I/Fケーブル周辺 電源ライン

●各タイプの使い分け例



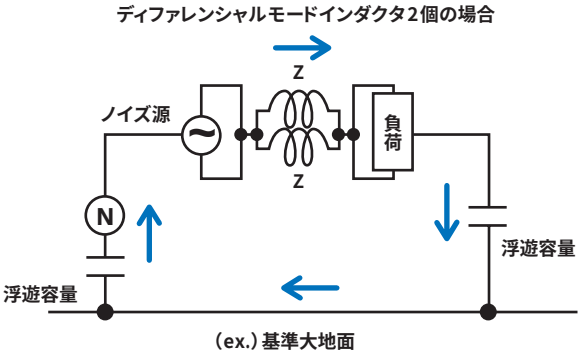
⚠お願い ・当PDFカタログは、株式会社村田製作所のウェブサイトからダウンロードされたものです。記載内容について、改良のため予告なく変更することや供給を停止することがございますので、ご注文に際してはご確認ください。
・当PDFカタログには、紙面の都合上代表的な仕様しか記載しておりませんので、ご注文にあたっては詳細な情報が記載されている納入仕様書をご確認いただくか承認図の取交しをお願いします。

●コモンモードチョークコイルを使うメリット



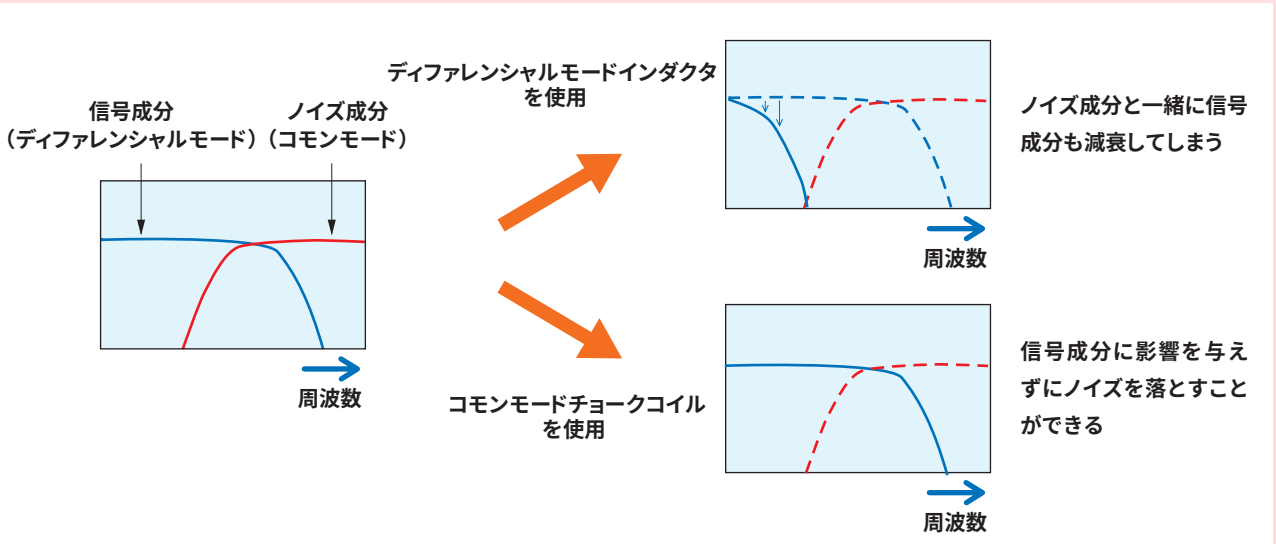
1. コモンモードノイズに対する効果が大きい

コモンモードノイズに対しては、ディファレンシャルモードインダクタのインピーダンスは半減してしまいます。
コモンモードチョークコイルはコモンモードノイズに対して有効に働きます。



2. 周波数が重なっているものを伝導モードにより分離できる

コモンモードチョークコイルは伝導モードによって電流を分離するので、伝導モードが違えば信号周波数とノイズ周波数が重なっていても、信号に影響を与えずにノイズを落とすことができます。



3. 大電流が流れる部分に使っても磁気飽和の影響を受けにくい

コモンモードチョークコイルはディファレンシャルモード電流による磁束が打ち消される構造になっているので、大電流を流しても磁気飽和を起こしにくくなっています。このため、DC電源ラインのノイズ対策にも有効です。

⚠お願い ・当PDFカタログは、株式会社村田製作所のウェブサイトからダウンロードされたものです。記載内容について、改良のため予告なく変更することや供給を停止することがございますので、ご注文に際してはご確認ください。
・当PDFカタログには、紙面の都合上代表的な仕様しか記載しておりませんので、ご注文にあたっては詳細な情報が記載されている納入仕様書をご確認いただくか承認図の取交しをお願いします。